

第42号 (2015年度)

金沢国際親善ニュース



「金沢マラソン2015」に全姉妹都市・友好交流都市から代表団が参加！



「ユネスコ創造都市ネットワーク会議金沢2015」に姉妹都市含む創造都市が世界から終結！

金沢市姉妹都市交流委員会

金沢マラソン2015に

全姉妹都市・友好交流都市から代表団が参加

2015年11月15日「金沢をまるごと『走る!』」をキヤッチフレーズに、金沢市で初めて開催された金沢の魅力が満喫できる7つのゾーンを走るフルマラソンの大会「金沢マラソン2015」に参加するため、11月12日から17日の期間、本市の全ての姉妹都市・友好交流都市からの代表団が来沢して、記念すべき第1回目の大会に華を添えていただきました。

マラソン当日は、しいのき迎賓館前からいしかわ四高記念公園前の各ブロックに整列した、海外からの市民ランナー約1,000人を含む12,000人に迫るランナーは、冷たい雨の降りしきる中、午前9時に山野之義・金沢市長の号砲を合図に一斉にスタート。あいにくの雨模様の天候にもかかわらず、沿道の途切れることのないたくさんの市民の皆様方からの熱い声援に力を得て、全員が楽しく走りました。まさにランナーと観客

が一体となった素晴らしい大会に、姉妹都市等からの代表団の皆さんは感激もひとしおの様様でした。

一行は滞在中、本市でのプログラムに応じて、それぞれ個々に本市との友好交流の絆を深めただけでなく、参加した各都市間での新たな相互交流の広がりも生み、本市を舞台とした新たな国際交流の場が展開されることになりました。

2016年には、既に10月23日(日)に第2回目となる金沢マラソンが開催されることが決定しており、今回の大成功を踏まえて、次回もより多くの姉妹都市等からのランナーの皆さんに参加していただけることを期待しています。

なお、各市からの訪問団の人数と、主な滞在日程は、以下のとおりです。

【訪問団】

都市名	団長	肩書き	人数(内、ランナー)
バッファロー市	フィリップ・オグル	バッファロー・ステート大学教授	6名(2名)
ポルト・アレグレ市	和田 好司	「金沢友の会」監事、南伯日本商工会議所専務理事	3名
イルクーツク市	ネビディモフ・エブゲニー	イルクーツク市体育・青年局体育課職員	5名(2名)
ゲント市	ゲールト・ゲイセル	NPO法人ゲントロープト代表	11名(9名)
ナンシー市	ジラルド・ダヴィッド	トライアスロン レミレモン オリンピッククラブ代表	5名(5名)
蘇州市	胡 穎	蘇州環金鷄湖国際マラソン組織委員会総指揮	5名(3名)
全州市	金 重鎮	国民スポーツ全羅北道陸上連合会会長	7名(4名)
大連市	于 克荒	大連市体育局副局長	5名(2名)
合計：8都市			47名(27名)

【主な滞在日程】

日付	時間	日程内容
11/12(木)		各市代表団(除:ポルト・アレグレ市、蘇州市、全州市)来沢
11/13(金)	午前	ポルト・アレグレ市団来沢 ひがし茶屋街視察、金箔貼り体験(於:さくだ金箔) 金沢21世紀美術館視察、蘇州市団、全州市団来沢 金沢市長・市議会議長表敬訪問 金沢市長歓迎夕食会
	10:00	
	13:00	
	15:30	
11/14(土)	午前	マラソンコース下見ツアー 市内視察ツアー(兼六園・金沢城公園・呈茶体験(於:玉泉庵)) 金沢マラソン前夜祭
	午後	
11/15(日)	終日	金沢マラソン2015参加、または応援 送別交流夕食会
	18:30	
11/16(月)~11/17(火)		各市代表団 市内視察等後、離沢



出走の前に金沢市長及び金沢市議会議長を表敬訪問



出走後の送別夕食会で盛り上がる参加団の面々

ユネスコ創造都市ネットワーク会議金沢2015に 3姉妹都市来たる！

ユネスコ創造都市ネットワーク会議は、ユネスコにより「創造都市」として認定されている都市の代表者が一堂に会し、共通の目標に向けた活動の情報交換と今後の取組の明確化等を目的とした会議です。

2015年5月25日から5月28日の日程で行われた第9回となる2015年金沢会議は、国内で初めての開催となりました。参加者は142名（ユネスコ創造都市27か国61都市代表139名、ユネスコ代表部3名）で、世界のあらゆる地域にまたがるネットワークへと拡大して以来、最大規模の会議となり、参加都市が、ネットワークの運営や発展に関する多くの重要事項について合意に達することができ、成果の多い会議となりました。

姉妹都市からは、ユネスコ創造都市に認定されている3都市（全州市《食文化》、ゲント市《音楽》、蘇州市《クラフト&フォークアート》）が集まり、交流を深めました。

創造都市とは

「創造都市」とは、独自の文化をもち、それらを産業と結びつけ新しい価値を創造する、いわば創造的な文化活動と革新的な産業活動の連環により、まちを元気にしている都市です。

ユネスコ創造都市ネットワークとは

ユネスコ創造都市ネットワークとは、グローバル化が進展する中で、世界の創造都市が連携し、それぞれ固有の文化を生かした創造的な産業を発展させることによって、文化の多様性を保護するため、ユネスコによって2004年に創設されました。

ネットワークに加盟するためには、文学、音楽、映画、食文化、メディアアート、デザイン、クラフト&フォークアートの7分野から一つを選んでユネスコに申請することとされており、金沢市は、2008年10月に申請し、2009年で、クラフト分野で世界初の認定を受けました。

〔主な日程〕

5/25	ステアリンググループ・ワーキング会議 姉妹都市歓迎夕食会
5/26	全体会議 創造分野別ワークショップ 市長ラウンドテーブル
5/27	ステアリンググループ・ワーキング会議 全体会議 文化プログラム
5/28	金沢市内文化エキスカッション UNU-IAS OUIK 国際シンポジウム 「石川・金沢 生物文化多様性圏」



開会式



日本語と英語、フランス語の同時通訳を提供

姉妹都市歓迎夕食会（5月25日）

姉妹都市である全州市《食文化》、ゲント市《音楽》、蘇州市《クラフト&フォークアート》と本市が集い、交流を深めました。丸口副市長が歓迎の挨拶を行い、答礼として、3姉妹都市を代表して全州市の曹捧業副市長が挨拶をされました。



3姉妹都市との集合写真

出席者

- 〔全州市〕
曹捧業（副市長）
呉福子（文化観光スポーツ局観光産業課係長）
朴用範（全北観光サービス研究所飲食観光研究員）
- 〔ゲント市〕
バルト・ドゥセ（文化専門員）
- 〔蘇州市〕
冀紅雪（文化広報新聞局無形文化遺産弁公室職員）
朱志剛（文化広報新聞局無形文化遺産弁公室職員）

市長ラウンドテーブル（5月26日）

金沢市長の呼びかけで、ユネスコ創造都市ネットワーク会議初となる市長ラウンドテーブルが実現されました。市長ラウンドテーブルには、市長10名・副市長7名及びユネスコ代表の出席を得て、ネットワークの将来に向けた提案などについて活発な意見交換ができました。

姉妹都市からは、全州市曹捧業副市長がパネリストとして参加し、毎年10月に開催される全州ビンバ祭り、全州ユネスコ創造食文化センターや全州国際韓食調理学校の取組などを紹介しました。また、「より強固で地理的なバランスの取れた効果的なネットワークを構築するには、地理的な不均衡を低減するため、ユネスコは戦略的に、少ない地域から創造都市を認定すべき」だと提言しました。



市長ラウンドテーブルの様子



市長ラウンドテーブルに全州副市長がパネリストとして参加

グローバル人材育成・青年海外派遣プロジェクト開始

金沢市では、本年度の新規事業として、金沢の青年をグローバル人材として育成するため、国際交流に意欲のある若者を海外に派遣する機会を創出する「グローバル人材育成・青年海外派遣プロジェクト」を開始しました。

派遣される金沢の青年には、現地の青年との交流や様々な文化に対する理解を深めてもらうとともに、帰国後は海外からの青年受入プロジェクトなど各種国際交流活動に参画してもらうことで、グローバル人材の育成をめざしており、初年度となる今年度は、姉妹都市ロシア・イルクーツク市との間で以下のとおり実施しました。

【派遣事業】

公募により選考された大学生4名及び大学院生1名を、9月22日（火）～9月29日（火）まで派遣しました。

事業趣旨に基づきイルクーツク市が策定したプログラムには、大学内での学生間の交流として、イルクーツク医科大学、バイカル国立経済法科大学及びユーラシア言語大学への訪問が組まれており、金沢の青年は、イルクーツク医科大学では学生同士の懇談、バイカル国立経済法科大学及びユーラシア言語大学では、予め用意していた金沢の歴史文化、和菓子、習字、折り紙、日本酒などのプレゼンテーションに併せて、持参した和菓子、習字、日本酒及び盆踊りによる交流を行いました。

また、青年との交流として、イルクーツク市役所と協働してまちづくりをめざすイルクーツク市青年議会のメンバーとの懇談も行いました。

そのほか、日本語コースがある中学校訪問、市内及びバイカル湖の見学に加えて、白樺民芸品作りの体験、美術館なども訪問し、文化に対する理解を深めました。

日程	主な内容
9/22	イルクーツク着
9/23	イルクーツク医科大学 州立図書館
9/24	バイカル国立経済法科大学 第26学校訪問（日本語コース有）
9/25	ユーラシア言語大学 イルクーツク市青年議会
9/26	バイカル湖方面見学
9/27	市内見学
9/28	表敬訪問
9/29	イルクーツク発、帰沢



バイカル経済法科大学でのプレゼン



ユーラシア言語大学でのワークショップ



バレグドヴァ教育長ら関係者と

金沢市派遣学生（5名）
 吉多絵美（女）金沢大学経済学類1年
 村中由佳（女）金沢大学保健学類1年
 江波茜（女）金沢大学保健学類1年
 御子柴のほら（女）金沢大学国際学類4年
 小浜由彦（男）金沢大学大学院自然科学研究科2年

【受入事業】

イルクーツク市から日本語を学習する大学生4名を、12月14日（月）～12月21日（月）の日程で受け入れました。青年受入プロジェクトとして、9月にイルクーツク市に派遣された金沢市の青年5名がプログラムを作成し、期間中、皆で学業の合間を縫って交代でアテンドしました。

プログラムでは、教育機関への訪問として、ロシア語のクラスがある金沢大学及び金沢星稜大学での学生交流・授業参画のほか、高尾台中学校での施設見学・給食体験を盛り込み、文化体験としては、和菓子、金箔、着付けの体験などのほか、兼六園や金沢城などの見学を設定しました。

そのほか、若者の交流として、学生のまち市民交流館で活動する大学生、受入に関係した大学生や金沢市中学生親善団員としてイルクーツク訪問した交流サポーターとの交流の機会を設けるとともに、9月の派遣学生宅でのホームステイを行うことで、イルクーツク市の学生に金沢の魅力を伝えるとともに、自身の経験の蓄積にもつなげました。

日程	主な内容
12/14	(12/13 金沢市着) 兼六園・金沢城 和菓子体験
12/15	玉泉庵（茶道） ひがし茶屋街（着付・金箔）
12/16	21世紀美術館、能楽美術館 学生のまち市民交流館
12/17	金沢大学 表敬訪問
12/18	高尾台中学校 金沢星稜大学
12/19	学生・交流サポーターと交流 （ホームステイ）
12/20	鈴木大拙館、帰国準備
12/21	離沢（12/22 帰国）



金沢大学での学生交流



金沢星稜大学での授業参画



金沢市長及び金沢市の学生と

イルクーツク市派遣学生（4名）
 GERASIMTCEVA TATIANA（女）ユーラシア言語大学 日本語専攻
 CHEZGANOV MATVEI（男）ユーラシア言語大学 日本語専攻
 SVISTOVA EKATERINA（女）バイカル経済法科大学国際経済専攻
 RAVAT ARTUR（男）バイカル経済法科大学国際経済専攻

地域の防災について考える若者プロジェクト 開催

2015年8月28日から2泊3日の日程で、国際交流特使養成塾の特別講座として、多文化共生社会の実現に向けての重要なテーマである外国人住民に対する防災について、参加者に体験を踏まえた上で意見交換してもらう能動的な活動を盛り込んだ「地域の防災について考える若者プロジェクト」を開催しました。

事業には、特使候補生の留学生10名のほか、地域の若者として日本人学生4名及び金沢市国際交流員3名も加わりました。初日は、災害や防災について学ぶため、金沢市危機管理課の「防災講座」受講のほか、能登半島地震で被災地した輪島市を訪問し、当時の様子をうかがうとともに被災後に設置した避難所案内板の視察などを行いました。2日目は、復興した輪島市内を視察した後、金沢市消防局の訪問等を行いました。最終日は、事業の総仕上げとして、市民防災訓練（「芳斉地区」玉川公園・中央小芳斉分校）に参加し、その後「災害発生時に、どのような支援が必要で、そのために私たちは何ができるか」を話し合い、地域の防災について理解を深めました。

なお、この事業について、各自のSNSに88回以上情報をアップしたとの報告があり、防災についての発信にも一役買ってもらいました。

日付	時間	内容
8/28 (金)	午前	開会式／オリエンテーション（自己紹介）
	午後	防災講座 輪島市役所訪問 (講義・避難所案内板等視察) グループ活動
8/29 (土)	午前	輪島市内視察
	午後	金沢市消防局視察 (講義、指令室、梯子車、起震車等) グループ活動
8/30 (日)	午前	市民防災訓練（「芳斉地区」）参加 (炊き出し、初期消火、応急救護、AED、手話、避難スペース等) グループ活動
	午後	意見交換・まとめ 発表



防災講座受講



避難所案内板視察



消防指令室見学



梯子車体験



炊き出し体験



応急救護体験



AED体験



発表の様子



記念撮影

市民防災訓練で留学生がロールプレイング

2015年6月28日に第19回新神田校下市民防災訓練が、新神田小学校ピロティ及び体育館等を会場として行われました。

当日は、地域住民らが集まる中、韓国、中国出身の留学生ら6名の外国人住民が参加し、各種訓練に参加したほか、シナリオに沿って、「避難所多言語対応冊子」で日本人学生ボランティア（リーダー養成塾メンバー）とコミュニケーションをとりながら、避難所入所受付から応急救護所での応急手当までの一連の流れをロールプレイングしました。



ロールプレイングの様子



講評をする馮曉麗さん

閉会式では、外国人参加者を代表して、中国人留学生の馮曉麗さんが、全員の前で講評しました。

こくさいこうりゅうとくし ようせいじゅく かいさい 国際交流特使養成塾の開催

金沢の魅力をSNS等を通じて海外へ発信する「国際交流特使」を養成するため、留学生等を対象に、金沢の文化等を体験して学ぶ「国際交流特使養成塾」を計10回開催しました。昨年度は姉妹都市出身及び姉妹都市のある国出身の留学生のみ対象としておりましたが、広く海外に魅力を発信する趣旨から、今年度より金沢の全ての留学生を対象にさせていただきます。

1. 国際交流特使登録留学生

「金沢市国際交流特使」は、帰国後もSNSや現地でのイベント等で、海外への金沢の魅力を発信を担ってもらうことを目的とした制度です。

国際交流特使登録留学生のうち、「国際交流特使養成塾」修了生は、「金沢市国際交流特使」として任命されます。

○特使登録留学生の国籍別内訳

国籍	人数
中国	17
韓国	5
ベトナム	4
タイ	3
インドネシア	4
マレーシア	1
フランス	2
スイス	1
ポーランド	1
イラン	1
オーストラリア	1
ブラジル	1
合計	41

※各人数は延べ登録人数
(任期途中での帰国者含む)

8月24日、特使養成塾を受講した外国人留学生のうち2016年9月に留学を終え帰国する5名の方を、初代国際交流特使として任命しました(写真は、当日所用で1名欠席のため留学生4名が写っています)。



特使任命式での記念写真

2. 講座内容

- 第1回 5月16日
金沢の武士文化ツアー
- 第2回 6月28日
金沢の夜間景観ツアー
- 第3回 7月26日
金沢の港町歴史ツアー
- 第4回 8月28日～30日
地域の防災について考える若者プロジェクト
※p4参照
- 第5回 9月9日～9月10日
夏の里山体感ツアー
- 第6回 10月18日
長町武家屋敷歴史ツアー
- 第7回 11月28日
町屋魅力発見ツアー
- 第8回 12月12日
能楽ツアー
- 第9回 1月30日
加賀野菜クッキング
- 第10回 2月17日～18日
冬の里山体感ツアー

3. 受講生の活動

受講生は、養成塾の中で、金沢の魅力を世界に発信することをテーマにしたワークショップで発表しました。また、各自のSNSに加え、旅行サイトトリップアドバイザーでも母国語で金沢の魅力を世界に発信しました。

金沢の港町歴史ツアー
(7/26 大野町)



夏の里山体感ツアー
(9/10 里山の魅力
発信をテーマに
発表)



能楽ツアー
(12/12
金沢能楽美術館)



加賀野菜クッキング
(1/30
金沢市農業センター)



全国の中国国際交流員が金沢に集結して、 金沢の魅力を発信!

国際交流特使養成塾は留学生を対象にしたものであるが、全国の国際交流員にも金沢の魅力を知ってもらうため、中国国際交流員のネットワークを活かし、全国で働く中国国際交流員9名を、1月9日～10日の日程で金沢に招へいしました。滞在中、参加した国際交流員は市内の観光地を巡ったほか、加賀友禅の型染めや加賀友禅の着用、金箔貼りも体験し、その内容をSNSで世界に発信しました。



金沢の魅力発信をテーマに発表

こくさいこうりゅうとくし かなざわ かつどう 国際交流特使による金沢PR活動！

(1) 蘇州市で2015年4月10～12日に蘇州市で開催された「第4回中国・蘇州文化創造デザイン産業交易博覧会」にて特使



ある趙麗媛さんが、金沢コーナーを設置し、金沢の魅力を来場者にPRしました。

(2) ポルト・アレグレ市で2015年8月15・16日に行われた「第4回日本祭り」にて、特使であるジルベルト・サントス



さん、ベアトリス・ロケットコベルさんが金沢コーナーを設置し、金沢の魅力を来場者にPRしました。

(3) ロシアのカザン市にある日本語学校で、2015年9月6日、日本語学校の生徒らを対象に、写真を交えながら、特使



であるガラエヴァ・ディナラさんが、金沢の魅力をプレゼンテーションしました。

(4) 特使であるネーラ・デュプリさんが、2015年10月15～17日の日程でベルギーから団体観光客を誘致し、金沢を案内したり、金沢の食文化紹介講座を開催して加賀野菜を使った料理を一緒に作ったりして、金沢を海外からの観光客にPRしました。



(5) 在外公館にて、特使の方々が、金沢コーナーで金沢の魅力を来場者にPRしました。

	<ベルギー> 在ベルギー日本国大使館	<ブラジル> 在ポルトアレグレ日本国領事事務所	<フランス> 在ストラスブール日本国総領事館
日時	12月3日(木) 18:00～20:00	12月3日(木) 19:30～21:30	12月9日(水) 18:30～20:30
場所	駐ベルギー日本大使公邸	ポルト・アレグレ市内の民間施設	在ストラスブール日本国総領事館
国際交流特使	マリス・ホルヴァートさん サンネヴァン・ワンゼーレさん	ジルベルト・サントスさん ベアトリス・ロケットコベルさん	オレリー・アユブさん

【ベルギー】



【ブラジル】



【フランス】



(6) 特使であるセルゲイ・オジネツさんは、2015年7月の金沢市中学生親善団のイルクーツク市派遣の際の通訳者を務めました。また、2015年9月のグローバル人材育成事業にて、金沢市派遣学生の訪問先を調整し、12月のグローバル人材育成事業のイルクーツク市学生の受入の際、金沢市とイルクーツク市との連絡調整役を務め、交流を通して金沢のPRをしました。

(7) 特使であるセルゲイ・リプキンさんは、自身が勤めるロシアの旅行会社で、金沢コーナーを常設し、金沢をPRしてくれています。

金沢PRにご協力いただき、
誠にありがとうございます！！

短期研修生受入

本市では、今年度、金沢に興味のある海外の若者を対象に、各種講座・体験・見学など、金沢について学習できる2週間の短期研修プログラムを作成し、1月・2月にかけて、バッファロー市（アメリカ）より1名、ポルト・アレグレ市（ブラジル）より2名、蘇州市（中国）より1名、計4名の研修生を受け入れました。

プログラムでは、金沢国際交流財団と連携し、ボランティアを活用したホームステイや講座など、市民と

の交流等も取り入れ、金沢をまるごと体験できる機会を提供しました。

研修生は研修修了日に金沢市国際交流特使に任命され、帰国後、SNSや現地でのイベントなどで金沢の魅力を発信します。さっそく、ポルト・アレグレの研修生が、ブラジルの金沢魅力発信拠点「金沢友の会」のホームページやリオグランデスル連邦大学のホームページで、金沢の魅力について、魅力を発信してくれています。



市職員による講義（テーマ：建築文化）



ひがし茶屋街にて金箔体験



ボランティア講師による水引体験



金沢市老舗記念館視察



日本人学生との交流（金沢大学訪問）



研修成果の発表

日本語教師を招へいし、金沢の魅力をPR！

金沢の魅力を知ってもらい、金沢への研修旅行や留学誘致の促進を目的に8月3日～7日の日程で、中国蘇州市の蘇州大学で日本語教師として働く邵宝先生を招へいしました。滞在中は、文化体験に加え、大学や

金沢市日中友好協会の交流も行いました。帰国後は、先生が蘇州大学の学生に金沢での滞在の様子を紹介し、金沢の魅力をPRしました。



加賀友禅型染め体験



時絵体験



長町武家屋敷跡視察

グローバル人材育成ふれあい講座を新たに実施！

本市では、世界の「交流拠点都市金沢」実現のため、国際交流を活性化させるための総合的な戦略として、昨年度、金沢市国際交流戦略プランを策定しました。このプランを推進するにあたり、幅広い年齢層を対象として、国際感覚を持つ人材の育成を図ることが必要であり、その一環として、新たに市立保育所の子どもを対象として、国際交流員によるグローバル人材育成ふれあい講座を初めて行いました。

保育所の子どもたちが、外国人や外国の文化とふれあう機会を通じて、外国を身近な存在に感じることで、グローバル人材に必要な国際感覚を養うことを目的に、本市の国際交流員が講師を務めました。講座では、外国の絵本や遊戯、また地球儀や国旗など、子どもたちにとって目新しい様々な教材を用いながら、外国語でのあいさつ、絵本読み聞かせ、外国の遊戯、簡単な国紹介などを行いました。

〔実績〕

- 10/16 薬師谷保育所（講師：フランス・デュボワ交流員）
- 11/5 大桑保育所（講師：フランス・デュボワ交流員）
- 12/18 大桑保育所（講師：中国・魏交流員）
- 12/22 薬師谷保育所（講師：ベルギー・ヴァンホーレンバーク交流員）
- 1/14 中村町保育所（講師：フランス・デュボワ交流員）
- 1/19 三馬保育所（講師：ベルギー・ヴァンホーレンバーク交流員）
- 1/27 花園保育所（講師：フランス・デュボワ交流員）
- 3/2 矢木保育所（講師：フランス・デュボワ交流員）



薬師谷保育所での講座（10/16）の様子



大桑保育所での講座（11/5）の様子

市文化施設スタッフ向け英会話研修を実施！

北陸新幹線開業で増加する外国人観光客に英語で対応することを旨とし、外国人に接する機会が多い市文化施設で勤務する職員やスタッフを対象として、21世紀美術館や金沢芸術創造財団・金沢文化振興財団が英会話研修を行いました。

英会話研修では、国際交流員と市内の外国人住民が講師を務め、あいさつ、受付での対応、注意・断り方、道案内など、職員らが実際に業務の中で必要となる基本的なフレーズを講師の手本に続いて、ロールプレイングなどを通じて学びました。研修会では、参加者たちは活発に質問し、今後の業務に生かすため熱心にメモをとっていました。

〔実績〕

- 6/1 第1回21世紀美術館スタッフ英会話研修（講師：ウング交流員、外国人住民1名）
- 6/8 第2回21世紀美術館スタッフ英会話研修（講師：外国人住民2名）
- 6/22 第3回21世紀美術館スタッフ英会話研修（講師：外国人住民2名）
- 7/10 第1回市文化施設職員英会話研修

（講師：ウング交流員）

7/17 第2回市文化施設職員英会話研修

（講師：ウング交流員）

3/18 第3回市文化施設職員英会話研修

（講師：デュボワ交流員）



21世紀美術館スタッフ英会話研修の様子



市文化施設職員英会話研修の様子

多言語電話通訳サービスの導入

5月より、外国人住民と市職員との窓口でのコミュニケーションを支援することを目的に、多言語電話通訳サービスを導入しました。これは、窓口の担当者が、通訳者に電話をかけ、来庁外国人との間で受話器を受け渡ししながら、会話を成立させるものです。これまで、日本語が話せない外国人住民等が来庁した場合、国際交流員の派遣などで対応してきましたが、このサービスの導入により、国際交流員等の不在時や、本庁以外の各窓口でも、多言語による即時対応が可能となります。

導入窓口は、市役所の窓口（2課）および庁外の各市民センター（14センター）、各福祉健康センター（3センター）で、電話の対応言語は、英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語です。

デジタルサイネージを活用して国際交流活動を紹介！

2015年12月8日から12月18日まで、本市の国際交流活動を紹介するデジタルサイネージ（電子看板）を市役所1階のエントランスホールに設置しました。

紹介したのは、海外での金沢の認知度アップをめざし、金沢の魅力を発信する国際交流特使による活動（p.5, 6参照）のほか、各姉妹都市との交流事業や、グローバル人材育成事業（p.3参照）、各国大使館からの来訪の様子で、市庁舎を訪れた市民は興味深げに活動の様子に見入っていました。

また期間中の12月17日には、グローバル人材育成事業（p.3参照）の一環としてイルクーツ市から来沢し、市庁舎を訪れていた学生らを対象にして、デジタルサイネージを活用して、ウェルカムメッセージや交流の様子を画像で写し出して歓迎する試みも行われました。



エントランスホールに設置されたデジタルサイネージ



国際交流特使の活動紹介



ウェルカムボードに見入るイルク学生ら



ウェルカムボードでの記念撮影



バッファロー [アメリカ合衆国]



オグル教授による美大での講演会の様子

提携 1962年(昭和37年) **人口** 26万人 **面積** 105km²

五大湖のひとつ、エリー湖の東にあり、ニューヨーク州西部の政治、経済、教育、文化の中心地。製鉄・製粉などの工業都市として発展した。市内には、オルブライト・ノックス美術館、州立大学バッファロー校や広大なデラウェア公園があるほか、著名な建築家フランク・ロイド・ライト設計の建物が現存するなど、文化と学術のまちでもある。有名なナイアガラの滝は、北西25kmの所にある。

ニューヨーク州立大学バッファロー校教授が来沢

2015年4月27日から29日まで、ニューヨーク州立大学バッファロー校からジェームズ・レイノルズ教授がご家族で来沢し、市内を視察したほか、協定締結校である金沢大学の山本博理事を表敬訪問し、今後の学生および研究者交流について意見交換を行いました。

バッファロー・ステート・カレッジ教員を美大で受入

金沢美術工芸大学とバッファロー・ステート・カレッジでは交流事業として、2008年度から教職員の相互交流を行っており、今年度は、金沢マラソンのため、バッファロー市からマラソン団の団長として来沢していたフィリップ・オグル教授を2015年11月17日から19日までの間、金沢美術工芸大学で受け入れ、講演会及びワークショップを開催しました。

バッファロー・金沢姉妹都市委員会会長が来沢

2015年11月12日から17日まで、バッファロー金沢姉妹都市委員会の道井孝子会長が来沢しました。今回は金沢マラソンのため、バッファロー市から派遣されたマラソン団の一員として来沢したもので、マラソン関連の日程を精力的にこなされたほか、両市の交流に縁のある団体や個人との友好を深めるとともに、今後の交流に関する有意義な意見交換などを行いました。道井会長の来沢は、2013年の来沢以来、約2年半ぶりとなります。

Topics

バレエ留学中の富田夕葉さんが市役所へ近況報告

市内の中山芽バレエスタジオに所属していた富田夕葉さんが、2012年9月からバッファロー市内の高校に通いながら、バレエ留学を続けています。バッファローとの姉妹都市交流の一環として来沢経験のあるバッファローのネグリア・セルジオ氏との縁が始まりで留学しているもので、2015年8月には、夏休みを利用して一時帰国した富田さんが市役所を訪れ、近況報告を行いました。今後のますますのご活躍を祈念しています。



ポルト・アレグレ [ブラジル連邦共和国]



ポルト・アレグレ市内に金沢の魅力を紹介するサントス協会

提携 1967年(昭和42年) **人口** 141万人 **面積** 497km²

ブラジル南部最大の都市で、リオ・グランデ・ド・スル州の州都。豊かな農牧地帯とリオ・デ・ジャネイロに並ぶ良港を持ち、米、ワイン、たばこ、畜産物などの生産のほか、木材、毛織物、金属等の工業も盛ん。四季ははっきりしており、グワイバ川沿いに広がる市街は、美しいパトス湖や街路樹に彩られる。まちの入口では、この地のシンボルのガウショ(カウボーイ)の像が訪れる人々を出迎えている。

金沢友の会・和田夫妻が来沢

2015年11月13日から16日まで、金沢友の会のメンバーである和田夫妻が来沢しました。今回は金沢マラソンのため、ポルト・アレグレ市から派遣されたマラソン団として来沢したものです。滞在中は、マラソン関連の日程を精力的にこなされたほか、2014年8月に日本祭り参加のためポルト・アレグレ市へ派遣された瀬尾明美・今枝外喜雄夫妻と再会を果たし、思い出話に花を咲かせました。

また、2017年の姉妹都市提携50周年の記念として職人大学校で制作が進められていることじ灯籠の制作現場を視察し、ポルト・アレグレ市役所への報告と準備作業への協力を約束しました。



制作中のことじ灯籠を視察する和田夫妻

Topics

ポルト・アレグレ市民に金沢の魅力を紹介

金沢友の会のジルベルト・サントス会長が、国際交流特使の活動の一環としてポルト・アレグレ市の日本祭りで金沢ブースを設置(p.6参照)し、金沢のPRを行っていたところ、来場者の一人が金沢への旅行に関心を示し、後日、2016年1月21日に、旅行参加者を対象にジルベルト・サントス会長が金沢の魅力に関するプレゼンテーションを行いました。ポルト・アレグレ市からの旅行参加者は約30名で、2016年4月に来沢予定です。

金沢友の会ホームページ開設

今年度、金沢市の短期研修プログラムに参加(p.7参照)し、国際交流特使に任命されたカリーネ・アルンホルトさんが、特使の活動の一環として、金沢市の魅力を伝えるとともに、両市民を結ぶポータルサイトとなることを目指して、自身もメンバーとして活躍するポルト・アレグレ市の金沢友の会のホームページ(ポルトガル語)を新たに開設しました。今後、金沢市としてもカリーネさんたちの活動を応援していきたいと思っております。

イルクーツク 【ロシア連邦】



表敬訪問後の記念撮影(8月 中学生親善団)

提携 1967年(昭和42年) **人口** 62万人

面積 277km²

バイカル湖(世界遺産)の西方にあり、東シベリアの政治、経済、教育、文化の中心地。イルクーツク州の州都。天然資源が豊かで、機械、木材、食品などの工業が発達している。アンガラ川沿いに広がる市街は、美しく落ち着いた雰囲気から「シベリアのパリ」とも呼ばれる。市内には、イルクーツク大学をはじめとした学術施設、先端技術の研究所や工場などが数多くあるほか、市民の文化・芸術活動も盛ん。

たくさんの思い出！ 金沢市中学生親善団イルクーツク市派遣

2015年7月27日(月)から8月4日(火)の日程で、蚊戸進 金沢市環境局長を団長とする中学生親善団20名(うち中学生15名)を派遣しました。

今年度は、新潟空港からの航空便を利用しましたが、航空便の出発時間により、新潟市に前泊しました。翌28日、新潟空港を出発し、ハバロフスクを経由してイルクーツクに入りました。イルクーツクでのプログラムが始まったのは29日からで、同日は、銀行での両替、市内や子供鉄道などを見学しました。30日は、第47学校訪問を行うとともに、世界遺産バイカル湖を見学しました。31日は、新たな名所である130番地区を散策した後、自然健康キャンプ“エコログ”を訪問し、同所に滞在している青少年とパフォーマンスの交換や直接ふれあう交流などを行いました。

8月1日～2日は、ホームステイ。1日の対面式では、パフォーマンスを披露し、続いて地元のアンサンブルの歌と踊り、さらにロシア式ゲームでの交流を深めた後、受入家庭に向いました。1泊2日の時間でしたが、翌日戻ってきたときには、ホスト家族の一員のようになっていました。

3日は、市役所表敬訪問が行われました。エデリマン副市長をはじめ、国際交流の幹部が出席している中で、団員は、まちや人々に関する印象、ホームステイの感想などについて、積極的に意見を発表し、親善大使の役割を果たすとともに、両市の友好をより一層固めることに大きな貢献をしました。

団員は、交流を通じて新しい友人を作ったほか、姉妹都市に関する理解を深め、たくさんの思い出を持って4日に金沢市へ戻りました。



ホストファミリーとの交流会

スポーツや新たな若者の交流もありました！

金沢マラソン2015参加団の来沢(1頁)

受入 11月12日～同16日(5名/うちランナー2名)

グローバル人材・育成青年海外派遣プロジェクト(3頁)

派遣 9月22日～同29日
(5名/大学生4名、大学院生1名)

受入 12月14日～同21日(4名/大学生4名)

Topics

「第25回日ロ沿岸市長会」に市長公室長を派遣

2015年8月23日から27日にかけて、日本とロシアの35市(日本側17市、ロシア側18市/日本側事務局新潟市)で構成され、両地域の友好促進、文化・経済関係の強化などを目的として、ロシア・ウラジオストク市で開催された「第25回日ロ沿岸市長会議」に、当田一博市長公室長を派遣しました。当田室長は、この会議の第2議題「日ロ両地域の都市間での観光交流活性化における協力関係の発展」で発言する日ロの8市の代表の1人として、『観光交流促進に向けた金沢の魅力発信～「世界の交流拠点都市金沢」をめざして』と題する講演を行い、本市の取組みを紹介するとともに、金沢の魅力を発信しました。

「石川県ロシア協会」交流写真展開催

2015年10月21日～同11月1日にわたり、石川県ロシア協会金沢支部(金沢市ロシア協会)は、金沢国際交流財団に於いて、同協会が毎年設定している日ロ友好親善月間「フェスタ・バイカル」の枠組みにおいて交流写真展を開催し、姉妹都市イルクーツクの現在の様子や交流事業とともに、モスクワ、サンクトペテルブルクについても紹介しました。

「交流サポーター」活動

金沢市の青少年交流事業で、21世紀を迎えた後、イルクーツク市へ派遣された中学生親善団員OB等の有志で構成され、メンバー相互の切磋琢磨のための親睦活動や国際交流事業のボランティアを行っている国際交流「篤志」「交流サポーター」の本年度の主な活動は次のとおりです。7月：本年度イ市派遣される中学生への講話(1名2013派遣者)、8月：同窓会(13名06.11.13.15派遣者)、12月：イルクーツクの大学生の講演会(12名02.06.13.15派遣者)、1月：同窓会及び中国国際交流事業(4名11.15派遣者)、3月：同窓会(17名11.13.15派遣者)。その他、各種国際交流事業への協力、仏・ナンシー市からの交通希望者への対応等も積極的に行いました。

ゲント【ベルギー王国】



表敬訪問時の記念撮影
(ゲント・ユース・ジャズ・オーケストラ)

提携 1971年(昭和46年) **人口** 25万人
面積 158km²

フランダース地方の中心都市で、今も中世の面影を色濃く残す芸術・文化のまち。別名「花の都市」とも呼ばれ、花の博覧会「ゲント・フローラリア」は世界的にも有名。ゲント港はヨーロッパ屈指の内陸港で、繊維、鉄鉱などの産業が発達した。聖バーフ大聖堂や1817年創立のゲント大学のほか多くの博物館や旧跡があり、中でも鐘楼やベギン会修道院などは世界遺産に指定されている。

若手アーティスト交流作品展を両市で開催

金沢市とゲント市の若手アーティストによる交流プロジェクトとして、ゲント市を中心に活動するアート団体INARIが、両市で同時に作品展を開催することを企画したもので、両市の協力のもと実現しました。作品展のテーマは、プロジェクトに参加する両市の若手アーティストが、相手のまちの著名アーティストを題材として選び、そのアーティストの作品から受けたインスピレーションで作品を制作するというもので、ゲントでの展覧会では、金沢美術工芸大学の学生6名の作品を中心に展示(期間:4月10日~17日)されました。また同時に開催された金沢での展覧会では、プロジェクトに参加した金沢美大生の協力のもと、ゲント王立美術アカデミーの学生10名の作品を中心に展示(期間:4月12日~17日、会場:金沢学生のまち市民交流館)されました。



ゲントでの展覧会に訪れたテルモント市長

ゲント・ユース・ジャズ・オーケストラ来沢

2015年8月5日から13日までの間、ゲント市からジャズバンド団(引率6名、団員16名)が来沢しました。来沢したのは、ゲント市で若手ミュージシャン育成プロジェクトとして2012年に誕生したゲント・ユース・ジャズ・オーケストラで、金沢ジャズ連盟が主体となってゲント市から受け入れたものです。今回の来沢に先立って、2014年には市民芸術村を拠点に活動するジュニア・ジャズ・オーケストラJAZZ-21がゲント市を訪問し、演奏やワークショップを通じてゲント市の音楽関係者と交流を深めており、今回のジャズバンド団来沢は、ゲント市が音楽分野で登録されているユネスコ創造都市ネットワークの枠組みを生かした交流の一環として実現したものです。ジャズバンド団の滞在中は、金沢市民芸術村や金沢21世紀美術館などを会場に計5回のコンサートが行われ、訪れた市民に迫力ある演奏を披露したほか、ホームステイなどを通じて、若手音楽家同士の交流も大いに深めました。

在日ベルギー大使館公使参事官がフローラリア出展庭園を視察

2016年4月にゲント市で開催される花と植物の祭典「ゲ

ント・フローラリア2016」に、姉妹都市提携45周年記念事業の一環として庭園を出展するにあたり、2015年11月21日から29日までの間、出展庭園を姉妹都市公園内で一般公開しました。



出展庭園を視察する公使参事官

公開期間中の11月27日には、在日ベルギー大使館のクリストフ・ドゥ・バツソンピエール公使参事官を本市へ招聘し、出展庭園をご案内しました。これに先立って山野市長と懇談したドゥ・バツソンピエール公使参事官は、2016年は日本とベルギーの外交関係が始まってから150周年にもあたり、両国において様々な記念行事が予定されているとした上で、「フローラリアは節目の年のハイライトとなる行事であり、金沢はベルギー中から注目を集めるだろう」と期待を込めて話されました。

アーティストグループ来沢

2016年2月12日から16日までの間、ゲント市を拠点に活動するアーティストグループKAPOWのメンバー2名が来沢しました。彼らは、2016年の姉妹都市提携45周年などを念頭に、金沢のアーティストとの交流の可能性を模索することを目的として来沢したもので、滞在中は、金沢市民芸術村などを視察したほか、金沢美術工芸大学の学生や市内のアーティストと交流を深めました。

Topics

石川県洋菓子協会が若手パティシエを派遣

若手パティシエの技術向上のため、石川県洋菓子協会が派遣された中島未貴さんが、ゲント市内の洋菓子店「ダム」に2015年8月から1年間、インターンとして派遣されています。石川県洋菓子協会では、昨年度もゲント市へ若手パティシエを1名派遣しており、今回でゲント市への派遣は5人目となります。派遣パティシエは帰国後、若手向けの講演会を予定しています。

金沢市議会姉妹都市友好訪問団がゲント市を訪問

10月6日から10月8日の日程で、福田太郎金沢市議会議長を団長とする金沢市議会姉妹都市友好訪問団がゲント市を訪問しました。一行はフランスの姉妹都市であるナンシー市の訪問と併せて訪欧し、ゲント市ではダニエル・テルモント市長やゲント市議会議員らと懇談しました。

ナンシー【フランス共和国】



交換留学生の受入・派遣

提携 1973年（昭和48年） **人口** 10万人
面積 15km²

フランス東部の中心都市で、12世紀中頃からロレーヌ公国の都として栄えた。機械、織物、クリスタルガラスなどの産業が発達しており、20世紀初頭の芸術運動アール・ヌーボー発祥の地としても有名。総合大学等があり、人口に占める学生の割合が高い学園都市であると同時に、国際的な音楽祭や国立バレエ団がある芸術都市として発展している。スタニスラス広場などが世界遺産に指定されている。

交換留学生の受入・派遣

金沢市から昨年派遣された近藤智子さん（金沢美術工芸大学）が、1年間の留学生生活を終えて帰国しました。また、25人目の留学生として、猿橋舞子さん（金沢美術工芸大学大学院）が派遣され、2015年10月よりナンシー国立高等美術学校にて学んでいます。

さらに、ナンシー市からの25人目の留学生、バーバラ・ベラネックさん（ナンシー国立高等美術学校）が金沢美術工芸大学での留学生生活を始めました。

インターン生の受入・派遣

ナンシー市でのインターンのため、河崎柚衣さんと西村佳織さん（ともに金沢美術工芸大学）が金沢市から派遣されました。インターンは8月3日から8月28日の期間で行われ、2名はナンシー市の広報課や老人ホームなどの仕事を担当しました。このインターンには金沢市以外にもナンシー市の各姉妹都市から学生が参加しており、世界中から集まった学生たちがインターンを通じて異文化交流を図りました。

また、金沢市では、ナンシー市からのインターン生であるマリー・ドスタさん（ロレーヌ大学）を同日程で受け入れ、金沢卯辰山工芸工房や玉川こども図書館、金沢国際交流財団などで就業体験を行いました。



金沢国際交流財団でインターン生による市民講座を開催



金沢卯辰山工芸工房での研修

「ドーム社」のアートディレクター、マウリシオ・クラヴェロ・コスロフスキ氏を受入れました。クラヴェロ氏は8月5日から8月17日の

期間で、陶芸や金継ぎなどの研修を行いました。ドーム社との交流は、昨年の派遣から続いて2回目で、受入は今回が初めてとなりました。

Topics

金沢市議会姉妹都市友好訪問団がナンシー市を訪問
10月4日から10月6日の日程で、金沢市議会姉妹都市友好訪問団がナンシー市を訪問しました。一行はベルギーの姉妹都市であるгент市の訪問と併せて訪し、ナンシー市ではジャン＝ミシェル・パールモン助役やナンシー市議会議員らと懇談しました。

金沢市立病院が研修医を派遣

10月1日から10月28日の日程で、金沢市立病院が地域圏立ナンシー大学病院に研修医2名を派遣し、1ヶ月間の研修を行いました。

在京都フランス総領事、在日フランス大使館政務参事官が来沢

金沢日仏協会の「新春の集い」への出席のため、1月30日に在京都フランス総領事館のシャルル＝アンリ・ブロンソー総領事と、在日フランス大使館のニコラ・ベルジュレ政務参事官が来沢しました。これに併せて、山野之義金沢市長と福田太郎金沢市議会議長（金沢市姉妹都市交流委員会会長）への表敬訪問を行いました。



山野市長、福田議長を表敬訪問

ドーム社のガラス工芸作家を受入

金沢卯辰山工芸工房にて、ガラス工芸品ブランド



蘇州【中華人民共和国】



「蘇州市伝統手工芸展」開会式

提携 1981年(昭和56年) **人口** 661万人 **面積** 8,488km²

約2500年前、「呉」の国の都として築かれた古都。温和な気候と美しい自然に恵まれ、古くから景勝の地として知られる。美しい庭園と寒山寺などの名所旧跡が数多く、拙政園や留園など9カ所もの庭園が世界遺産に指定されている。シルクなどの特産品や食の地としても有名であるが、近年は、日本企業を含む多くの外国企業が進出始めざましい経済発展を遂げている。2014年12月、本市と同じクラフト分野でユネスコ創造都市ネットワークに加盟。

蘇州市伝統手工芸展を開催

2015年12月5日から12日まで、金沢市文化ホール「展示ギャラリー」にて「金沢市・蘇州市姉妹都市交流『蘇州市伝統手工芸展』」を開催して、蘇州市伝統の草編み組人形や、クミ彫刻、木版年画、蘇州シルク、唐木細工、切り絵細工、蘇州扇子などの手工芸品11アイテム・約150点余りが展示され、蘇州市の工芸技術の高さを来場者に伝えました。

この展示会は、2014年12月に蘇州市が本市と同じ「クラフト&フォークアート」分野でユネスコ創造都市ネットワークに登録されたことを記念して開催されたもので、金沢市でこれだけ多くの蘇州市の伝統手工芸品の数々が展示されたのは初めてのこととなりました。

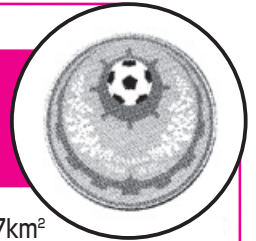
本展示会の開催のため、12月4日から7日の日程で、金永元・蘇州市文化広報新聞出版局工運会主席を団長として、何れも確かな技術力を有する民間の工芸職人5名を含む11名の訪問団が来沢し、開会式に出席、作品の制作実演を通して蘇州市の伝統手工芸品の魅力を市民に紹介したほか、金沢職人大学校や卯辰山工芸工房を訪問して、交流を深めました。

熱烈歓迎！ようこそ蘇州市中学生親善団の皆さん

2016年2月18日から22日の日程で、程蘇澄・蘇州市田家炳実験初級中学校弁公室主任を団長に同校の生徒11名を含む13名の親善団が来沢しました。一行は滞在中、金沢市長を表敬訪問したほか、市立高尾台中学校の協力を得て同校を訪問、1・2年生全員による歓迎を受けて、給食体験や授業見学、同校生徒会による学校紹介・交流会等に参加して、生徒同士の親睦を深めました。また、キゴ山での研修合宿や、昨年度に金沢市の中学生親善団として蘇州市を訪問したホストフレンドの家庭を中心とした1泊2日のホームステイ活動等を通じて、金沢に対する理解を深めました。なお、両市の中学生による相互交流事業は、2001年度に姉妹都市提携20周年を記念して始められ、これまでに5回の派遣と3回の受入を行っており、今回が4回目の受入事業となりました。



交流送別会での記念撮影



大連【中華人民共和国】



野口教育長を表敬訪問した大連市教育視察団

提携 2006年(平成18年) **人口** 690万人 **面積** 13,237km²

遼東半島最南端に位置し、中国東北部を代表する港湾工業都市で、貿易金融の中心都市。総延長1,900kmにおよぶ美しい海岸線と起伏に富んだ地形に恵まれた風光明媚で活力溢れ、ファッションとサッカーをイメージした戦略で知られる観光都市でもある。

また、船舶・鉄道車両などの工業分野でも発展を遂げるとともに、郊外の「経済技術開発区」を中心に、3,300社以上の日系企業が進出しており、先端技術の発展を目指した国際都市の建設に邁進している。

大連市への教員派遣研修を実施

金沢市教育委員会では、2015年9月19日から23日の日程で、松倉剛弘・金沢市教育プラザ総括施設長を団長に市内小中学校の中堅教員等からなる「金沢市教職員大連市派遣研修団」一行6名を派遣して、大連市の教育事情を視察しました。

一行は、提携関係にある大連教育学院や、大連大学、大連工業大学、特別支援学校や市内の小中学校を訪問して、大連市の教育事情に対する理解を深めました。なお、この国際感覚を磨き、教員の指導力等の資質向上を目的とした大連市への研修団の派遣は、本市と大連市との友好交流都市提携前の2004年度から毎年行っており、今回が12回目となりました。

また、本研修団には、同じ日程で金沢市立工業高校の教員2名が同行して、昨年度7月1日に「教育友好交流に関する合

意書」を提携した大連市技師学院を訪問して交流を深めると共に、本市の工業技術教育推進へ生かすべく研修を行いました。

大連市教育視察団の来沢

金沢市教育委員会との相互交流事業の一環として、2015年12月6日から9日の日程で、賈聚林・大連市中日教育文化交流協会副会長(前大連市教育局長)を団長に大連市内の小中学校の校長からなる12名の訪問団が、本市の教育事情を学ぶために来沢しました。

一行は滞在中、7日に野口弘・金沢市教育長を表敬訪問、市内の小中学校を訪問したほか、8日には大連市教育学院と提携関係にある金沢市教育プラザ富樫を訪問して友好交流を深めると共に、本市の教育事情を視察しました。

全州 (大韓民国)



海みらい図書館が全州市完山図書館と提携交流合意書を締結

提携 2002年(平成14年) **人口** 65万人 **面積** 206km²

「後百済」の都として千年余りの歴史を持つ古都で、李氏朝鮮を開いた李成桂の本郷としても知られる。国指定宝物の豊南門(ブンナムムン)、韓屋村などの歴史遺産や韓紙(ハンジ)、韓(ハン)ソリなどの韓国伝統文化が創造的に継承されていることが高く評価されている。近年は、炭素繊維産業や「韓スタイル事業」を通して先端技術と伝統が調和する経済を追求するとともに、映画映像産業、生物生命産業なども育成し、21世紀新産業都市への変貌を図っている。

両市図書館交流の推進！提携合意書に調印

2015年8月12日から14日の日程で、閔宣植・全州市企画調整局長を団長とする4名の全州市からの図書館訪問団が、秋に予定する両市立図書館による提携合意書調印に向けた予祭を目的に来沢しました。

一行は滞在中、金沢市長を表敬訪問したほか、市立金沢海みらい図書館や玉川図書館を訪問して、合意書締結に向けた具体的な意見交換を行い、また市内視察等を通じて、両市の図書館交流の深化を約束しました。

これを受けて同年10月6日から9日の日程で、丸口邦雄・金沢市副市長を団長に、藤木由里・金沢海みらい図書館長をはじめとする4名の代表団が全州市を訪問、7日には丸口副市長と金承洙・全州市長の立ち会いの下、海みらい図書館と全州市立完山図書館との間で「友好提携交流の展開に関する合意書」が調印されました。これにより今後、合意書に基づく多彩な文化交流活動をおとして、両市の市民の皆様の間での相互理解の深まりが期待できると同時に、既に提携を結んでいる中国蘇州市図書館も含めて、互いに提携関係にある日中韓3姉妹都市図書館によるトライアングル交流が実現する運びとなりました。

全州市民に加賀象嵌を紹介、「第14回金沢伝統工芸展」に出展

2015年7月21日から8月2日まで全州の韓紙博物館で開催された「第14回金沢伝統工芸展」に、加賀象嵌をはじめ、加賀花手まり、加賀友禅作家が描く飾り扇、加賀水引細工、加賀繻、金沢和傘、二俣和紙など本市の稀少伝統工芸品を中心に約123点を送付して出展しました。両市の工芸品を紹介し合う展示会は、2002年の両市姉妹都市提携後、全州市の(社)韓紙文化振興院との間で毎年相互に双方の都市で開催されており、今回で14回目の開催となりました。

また、これに関連して同年10月7日(社)韓紙文化振興院の主催で全州市の韓紙産業支援センターで開催された「金沢伝統工芸セミナー」に参加するため、同月6日から9日の日程で、本市の金工作家の前田真知子さんと谷口史さんほか1名の金沢市職員が全州市を訪問しました。一行は滞在中「金沢伝統工芸セミナー」の開会式に出席した後、加賀象嵌の制作実演・体験ワークショップを開いて来場者に精緻で美しい加賀象嵌の世界を紹介したほか、市内視察等をおとして(社)韓紙文化振興院との交流を深めました。



加賀象嵌制作体験ワークショップの様子

なお、このセミナーの開会式には、両市図書館提携調印式に参加のため、同じ日程で全州市を訪問していた丸口邦雄・金沢市副市長一行も参加して、本市の緻密な伝統工芸技術への理解を呼びかけました。

全州市新興(シンフン)中学校訪問団が2度目の来沢

2016年1月27日から31日の日程で、全州市新興中学校の李鉉魯、白鐘玄の両先生に引率された同校の生徒6名を含む8名の訪問団が、研修を目的に来沢しました。一行は滞在中、金沢市国際交流課長を表敬訪問したほか、市立緑中学校の協力を得て同校を訪問、2年生の各教室に入っの給食体験や授業見学、1・2年生全員が参加した同校生徒会による歓迎行事・交流会に参加、また部活動見学や校内の本格的茶室での茶道体験等を通じて、生徒同士の親睦を深めました。更に一行は、ひがし茶屋街、兼六園・金沢城公園等の市内見学、金箔体験や2015年3月に「クリエイティブ・ワルツ」事業で全州市新興中学校を訪問した本市の若手工芸作家である橋本紗織さんの竹工芸教室を訪問して竹編みのコースター作りに挑戦するなど、金沢の文化に対する理解を深めることができました。



緑中の法被を着て交流会に臨む新興中の生徒たち

なお、全州市新興中学校からの訪問団の来沢は、2015年1月下旬に続く2回目ですが、この時期の韓国の学生の冬休みを利用した研修旅行となりました。

Topics

宋河珍・全羅北道知事(前・全州市長)が金沢市長と再会

2015年9月13日、石川県の受入事業として「石川県立歴史博物館・韓国国立全州博物館姉妹館交流25周年記念特別展『朝鮮王朝-宴と儀礼の世界-』の開幕式に出席するため来沢していた宋河珍・全羅北道知事(前・全州市長)が、多忙な日程を削いで山野市長と懇談、旧交を温め合いました。宋知事は全州市長時代の2012年6月以来の来沢となりましたが、北陸新幹線開通後のまちの賑わいぶりについて「まるで違うまちに来たようだ」とすっかり驚いておられた様子でした。

金沢市議会代表団が全州市を訪問

2015年10月21日から25日の日程で、久保洋子・金沢市議会副議長を団長とする「金沢市議会全州市訪問団」一行7名が2004年5月に友好交流協定を調印した両市議会での定期相互訪問事業の一環として全州市を訪問して、ピビンバ発祥の地で開催される「全州ピビンバ祭り」に参加するなど、全州市議会とのより一層の友好交流を深めました。

■世界の文化紹介講座

金沢市には約80ヶ国から4,500人を超える外国人の方が暮らしており、この数字は、金沢市民の約100人に1人にあたります。外国に行かなくても、私たちの身近なところに色々な国の文化があり、その国の人たちと気軽に交流ができるということを知ってもらおうと、今年度より外国人ボランティアによる世界の文化紹介講座を行っています。外国人ボランティアの方々の出身国の家庭料理を紹介する「ワールドクッキング教室」や、その国の現代事情、観光地や見所、伝統文化や外国語でのあいさつなどを「文化紹介講座」として定期的に開催しています。

4月18日(土)

「ワールドクッキング教室～第1回マレーシア～」
(参加者20名)

5月30日(土)

「英語でワールドクッキング～オーストラリア～」
(参加者20名)

6月3日(水)

「夜の国際理解講座～世界の今を知ろう 第1回インドネシア～」
(参加者16名)

7月18日(土)

「英語でワールドクッキング～ミャンマー～」
(参加者19名)

9月12日(土)

「休日の国際理解講座～魅惑の国タイをもっと知ろう～」
(参加者16名)

11月28日(土)

「台湾を再発見！～気軽にに行ける台湾の魅力を知ろう～」
(参加者20名)



英語でワールドクッキング「オーストラリア」



世界の今を知ろう「インドネシア」

■国際交流員による国際理解講座

金沢市には、アメリカ、ベルギー、フランス、中国、韓国
の5人の国際交流員が在籍しており、姉妹都市交流事業にか
かる業務の他に、地域レベルの国際化に従事するため、市民
に対して、姉妹都市や出身国の言語や料理、季節行事などの
文化を紹介する講座や金沢市内の小中学校への講師派遣など
を行っています。

4月9日、23日、5月14日、21日(すべて木曜日)

「シニアのための初めて英会話」(受講者12名)

6月4日、11日、7月9日(すべて木曜日)

「旅行に役立つ英会話」(受講者13名)

6月24日(水)

「『ことわざ・若者ことば』から見える韓国の文化」(参加者11名)

8月1日(土)

こども国際理解講座「夏休み子どもインターナショナルデー！」
(参加児童16名)

10月8日、15日、22日、29日(すべて木曜日)

「アンコール！シニアのための初めて英会話」(受講者16名)

11月4日、11日、18日(すべて水曜日)

「初めてのフランス語」(受講者16名)

12月8日(火)

「フランス語でおしゃべり」(参加者10名)

12月13日(土)

こども国際理解講座「世界のクリスマスとお正月を知ろう！」
(参加児童21名)

1月9日(土)

「親子でフランスのお菓子教室～王様のパイを作ろう～」
(参加親子12組)

2月9日(火)

「中国文化紹介講座～春節料理を作ろう～」(参加者16名)



シニアのための初めて英会話



世界のクリスマスとお正月を知ろう



英語でワールドクッキング「ミャンマー」



魅惑の国タイをもっと知ろう



親子でフランスのお菓子教室



中国文化紹介講座

国際交流ダイアリー

4～6月

- 4月8日 韓国・統営市長一行 来訪
- 4月15日 台湾 宜蘭県知事一行 来訪
- 4月16日 李相七・前韓紙文化振興院理事長 来訪
- 4月20日 金沢市出身の青年海外協力隊員1名がパナマからの帰国挨拶
- 4月20日 蘇州大学日本視察訪問団 来訪
- 5月7日 金沢市長 台南市長を訪問（第4回金沢・加賀工芸展）
- 5月14日 大連友誼グループ企業家訪問団 来訪
- 5月15日 駐日北欧4カ国（デンマーク、アイスランド、フィンランド、スウェーデン）大使 来訪
- 5月18日 駐日イタリア大使 来訪
- 5月27日 金沢市日台親善議員連盟 台北駐日経済文化代表処を訪問
- 6月5日 韓国忠清南道禮山郡月進会訪問団 来訪
- 6月12日 韓国観光公社・光州広域市南区観光課職員一行 来訪
- 6月17日 蘇州市青年連合会訪問団 来訪
- 6月24日 金沢市出身の青年海外協力隊員2名がタンザニア・エルサルバドルへの出発挨拶

7～9月

- 7月2日 台中市日台文化経済交流協会理事長一行来訪
- 7月9日 中東・アフリカ諸国観光関係省庁担当者来訪（JICA研修）
- 7月10日 韓国「産業政策研究院」一行 来訪
- 7月13日 国際青年会議所会頭（トルコ青年会議所）来訪
- 7月23日 大連交通大学日本語教師研修団 来訪
- 7月31日 ブラジル発祥武術カポエイラ師範 来訪
- 8月8日 日台交流サミットin金沢 開催
- 8月10日 台湾垂葉蘭関係協会・前会長一行 来訪（日台交流サミットin金沢にも参加）
- 8月20日 中国・北京清華大学美術学院訪問団来訪（金沢美術工芸大学との交流展「研・創・伝」開催、交流協約更新調印式）
- 9月3日 モロッコ・パレスチナ教育行政関係省庁担当者 来訪（JICA研修）
- 9月17日 ガーナの現代美術作家 来訪
- 9月17日 駐新潟韓国総領事館・劉泰和領事 来訪
- 9月29日 イタリア・トリノ市観光局一行 来訪



駐日北欧4カ国大使来訪

10～12月

- 10月10日 金沢市日台親善議員連盟 台中市長を訪問
- 10月16日 「2015第12回中国景德镇国際陶磁博覧会」参加代表団 景德镇市 訪問
- 10月20日 全州市の李漢雨氏が金沢市民芸術村で彫刻個展を開催
- 10月21日 全州市生態都市局公務員訪問団 来訪
- 10月30日 韓国・全州市柔道会金沢市訪問団 来訪
- 11月6日 マレーシア、中国、台湾のメディア記者3名が市長にインタビュー
- 11月10日 駐日ルーマニア大使 来訪
- 11月13日 韓国・京畿道東部圏協議会視察訪問団一行 来訪
- 11月28日 日・台友好交流芸能フェスティバルに出演の台南市一行 来訪
- 12月15日 駐新潟韓国総領事館主催管轄県・市国際課職員等関係者訪韓招聘事業参加国際交流課職員ソウル市訪問
- 12月21日 韓国中央大学音楽大学弦楽オーケストラ訪問団 来訪

1～3月

- 1月4日 韓国・全州市へ金沢市長の新年祝賀メッセージを送付
- 1月25日 全州市伝統文化課委託執行機関研究員一行 来訪
- 1月30日 在日フランス大使館政務参事官・在京都フランス総領事 来訪
- 2月17日 トルコの中央、地方行政官一行 来訪（JICA研修）
- 2月18日 大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事 来訪
- 2月18日 金沢市出身の青年海外協力隊員1名がタイからの帰国挨拶
- 2月26日 在日フランス大使館大学交流担当官 来訪
- 3月1日 キューバの技術系職員 来訪（JICA研修）
- 3月16日 金沢市出身の青年海外協力隊員1名がガーナへの出発挨拶
- 3月28日 在日フランス大使館駐日フランス大使、文化参事官 来訪



在日フランス大使館政務参事官・在京都フランス総領事来訪

国際交流員の一年

アマンダ・ウング (アメリカ)



Hello everyone! (皆さん、こんにちは！)

2015年は心躍るイベントが満載で、印象的な一年でした。3月14日に待ちに待った北陸新幹線が開業を

迎え、当日駅の様子をテレビで見たり、報道機関のヘリコプターの音を聞いたりし、ワクワクしました。

そして5月にユネスコ創造都市ネットワーク会議が金沢市で開催され、仕事で色々な国の人に出会い、参加者の金沢での滞在が愉快なものになるように取り組むことができ、とても有意義で貴重な経験となりました。

ウェルナ・ヴァンホーレンベーク (ベルギー)



Dag iedereen! (皆さん、こんにちは！) ベルギー出身の国際交流員のヴァンホーレンベーク・ウェルナです。今年金沢に来て3年目になります。この3年間で姉妹都市、又、

私の母国のベルギーに関するイベントたくさんありました。金沢市民と交流し、金沢の滞在を楽しく過ごしています。

マチルダ・デュボワ (フランス)



皆さんBonjour! (こんにちは！) フランスの国際交流員のマチルダ・デュボワです。一年ぶりでございます。着任して2年目に入りましたが今年も様々な仕事を通して金

沢の市民の皆様や海外のお客様と接する機会に多く恵まれました。

ユネスコ創造都市ネットワーク会議や金沢の初マラソンや客船の受け入れなどの時に通訳として務めさせていただいていますが、そういうような世界会議や大会は金沢のグローバル化をよく示していると思います。しかし、海外から人が来るばかりではありません

11月は金沢マラソンの初開催にあたり、私にとって初めてのマラソン観戦でもありました。広坂通りでスタートした時点から止まらない人の波をじっと見て、やはり1万2千人が一斉に走り出すというのは息をのむほど素晴らしい風景でした。

新幹線効果で町中の外国人観光客が増えている中、世界の交流拠点都市という目標の実現にコツコツ近づいているこの時期に金沢にいられて、本当に幸運だと思います。

金沢市の国際交流員としての任期は今年の8月までとなりますが、残りの時間を活かして金沢市民と楽しく交流しながらいい思い出をたくさん作っていきたいと思いますので、よろしく願いいたします！

2016年は金沢市とゲント市の姉妹都市45周年記念である上に、日本・ベルギー友好150周年にもなっています。この際、金沢市とゲント市で様々なイベントが開催される予定です。その多くのイベントの一つは姉妹都市のゲント市で行われる「ゲント・フローラリア2016」です。金沢市が名誉招待都市として107年の歴史のある博覧会に金沢市の始まりと現在を意味する「濫觴の庭」をつくることになっています。この一年間金沢でどういうイベントが開催されるのか楽しみにしています！

学校訪問や文化紹介講座や料理講座などの金沢市民向けのイベントを通して金沢の方々を海外に馴染ませているような気がします。新しい事業で保育所の訪問も始めましたが、若い子どもにも「海外」という概念を意識してもらい、日本以外の国や人に興味を沸かすのはとても有意義であることだと訪問する度に感じています。若い世代のみではなく大人向けのフランス語講座も開催させていただいた際は、金沢の皆様のフランスへの愛情を強く感じ、感動しました。

3月の新幹線開業から、街中に外国の方を多く見かけることになりましたが、今後とも金沢の方々とフランスの間の架け橋になれるように頑張りたいと思っていますのでよろしく願いいたします。À bientôt! (また今度！)

魏 敏 (中国)



你好！（こんにちは！）

金沢の姉妹都市である中国蘇州市から来ました魏敏です。2015年4月から金沢市役所国際交流課で国際交流員として仕事を始めさせていただきました。1年が間もなく光陰矢のごとく過ぎていきます。私は幸運に生まれ、北陸新幹線が開業した記念すべき年に初めて金沢にきました。この1年に、現在にも継承された伝統的な町並み、繊細で優美な伝統工芸品、日本海の高産物や加賀野菜を用いたじわもん料理、鮮やかな変化が富んだ四季、動植物いっぱいの自然など、新幹線で殺到した外国の観光客のように心残りせずに金沢の魅力満喫しました。

2015年5月にユネスコ創造都市ネットワーク会議ま

た11月に金沢マラソンの開催際の仕事のほか、蘇州伝統工芸展訪問団、清華大学美術学院訪問団、大連教育訪問団の受入、景德鎮市への出張など、様々な仕事に関与させていただき、日中間での活発な交流活動に取り組みました。また、中国関係資料の翻訳、学校や保育所訪問、料理講座、ラジオ出演などの仕事を通じて異文化理解を深め、草の根の交流の輪が広がるよう尽力いたしました。

2016年4月の任期終了の日が間もなく近づいてきます。この一年優しく応援してくれた同僚ら、温かく招待してくれた友達のことが惜しくてなりません。帰国してもこのつながりを続け、金沢と蘇州の相互交流に力を捧げていきたいと思えます。この1年間、本当にお世話になりました。謝謝！再見！（ありがとうございました。さようなら。）

李 瑜林 (韓国)



「アンニョンハセヨ！金沢市国際交流員の李瑜林です！」と挨拶できる日もわずかとなりました。私は今年で5年間の国際交流員としての任期を終え、次のステップに向け、進むことになりました。

国際交流員として働いた5年間を振り返ってみると、翻訳・通訳、多文化理解講座、市内小・中学校の学校訪問、インターナショナルキッズイベント、国際交流まつりなど様々な分野での仕事をさせていただきました。仕事を通じていろいろな方々と出会い、国際交流ができましたことは一生忘れられない思い出になりました。金沢で元気に、そして、楽しく生活できたことも全て心優しい金沢の方々のおかげだと思っております。心からお礼申し上げます。

ところで、韓国と日本は地理的に近いこともあり、以前から交流が活発に行われていたのですが、2015年はユネスコ創造都市ネットワーク会議や第1回金沢マラソンなどもあった年で、より多く、より様々な分野での交流が活発に行われました。特に11月にありました金沢マラソンでは、金沢市と姉妹都市である全州市からも多くのランナーが参加しました。両都市の友好のために走るランナーたちを見て、スポーツを通しての国際交流の楽しさを再認識できました。これからも交流を重ねて、よりお互いのことを理解し合えるようになればと思いました。金沢市の国際交流員としての仕事は今年で最後となりますが、引き続き金沢の魅力と国際交流の大切さを周りに発信していきたいと思っております。皆さん、5年間、本当にお世話になりました。ト マンナヨ！（また会いましょう）



第42号 (2015年度・平成27年度)

2016年発行

金沢市姉妹都市交流委員会

事務局：金沢市 国際交流課

TEL 076-220-2075 FAX 076-220-2069